

株式会社 高栄ホーム様

編集・制作事例インタビュー

漫画 70 周年記念誌『信義のバトン 2』（編集・漫画制作・DTP・校正・装幀・印刷製本）



■高栄ホーム:代表取締役 北井 博 様

◆海風社:松井 初美

◆ご創業 70 周年、設立 45 周年おめでとうございます。記念誌を漫画でまとめようと思われたきっかけは、何でしょうか。

■設立 30 周年を迎える頃、知人の会社の社史が漫画だった。「これは面白いな！」と思い、当時はまだ珍しかったのですが、30 周年記念誌を漫画にしました。で、今回もその路線でいったわけです。

◆漫画はわかりやすく、楽しいですね。弊社の HP をご覧になってお電話いただき、ありがとうございます。

■高栄ホームは滋賀県大津市に本社がありますので、近畿圏内というか来社可能な距離のところが第一条件でした。電話後、さっそく漫画の制作例を送っていただき、「いいな」と思いました。打合せのときにカラー版の本を拝見して、急遽漫画のカラー化を考えたりしました。それまでは、モノクロしか頭になかったのです。決め手となったのは、漫画家さんがこの本のために描いてくださった数場面ですね。そのタッチを見て、GO サインを出しました。

◆30 周年後から今日までの歩みについて、何度か取材させていただきました。折々に、「感謝の気持ち」「信用第一」と言われていたのが心に強く残っています。

■先代の教えなのです。その精神を受け継いでいくという決意を込めて、本のタイトルを『信義のバトン』としています。

◆事業をいろいろと展開され、常に新たなことに挑戦するという姿勢を感じました。その事業展開の下、生まれた建物ブランドや土地ブランド、ライフスタイルにあった住まいの提案など、盛り込みたい要素はあり余るほどでした。建物は、漫画ではなく写真のほうがリアルに伝わると思い、写真を使わせてもらったりしましたが、多かったですか。

■30周年誌のときも使っていたし、特に違和感はなかったです。しかし、いざ印刷に入るとなると、なかなか校了が出せないものですね。

◆校了予定日ギリギリまで、校正を重ねられましたものね。もっとこうしておけばよかった、あるいは、弊社に対してこうしてほしかった、というような思いはありますか。

■社員の出番が少ないことと、今後の展開が十分でなかった点ですね。もっとも、新事業はスタート地点についたばかりで、具体的に表せなかったということもあります。

◆次の80周年記念誌を期待しています！ お忙しいなか、ありがとうございました。

高栄ホームについて（HPより）

昭和30年11月 京都で司法書士事務所を開業

昭和55年2月 株式会社高栄産業設立

平成3年5月 株式会社高栄ホーム設立

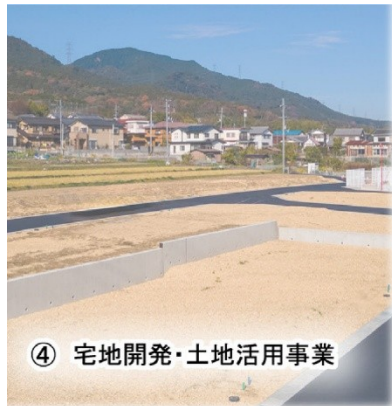
〒520-0835 滋賀県大津市別保二丁目8番35号

代表取締役 北井 博

総合住宅不動産企業。グッドデザイン賞を、令和2年から6年にかけて4回受賞

お客様が家族みんなで描いた夢をお客様と一緒にかなえたい！心豊かに、笑顔あふれ、快適に……。

そんな家族生活をすべてのお客様にご提案することが私たちの喜びです。地域に役立つ企業として、「お役立ち」の精神で取り組んでいます。



④ 宅地開発・土地活用事業



③ 不動産流通事業
(売買仲介・買取再販)

イイVESTATION
ステーション



⑥ リフォーム・
アフターメンテナンス事業



⑤ 不動産賃貸収益事業



⑧ 地域活性化事業
大津港サイクルステーション「Bard Cafe」
大津駅前公園再整備事業「COYA CAFE」



⑦ 飲食事業
「家カフェ+Garden」



高栄ホームの
事業は
八つの柱から
成り立っている



① 分譲住宅事業
土地ブランド「バードタウン」
建物ブランド「ママコレの家」



② 注文住宅事業
デザイン住宅「アートハウス」
地震に強い「テクノストラクチャー」
ローコスト「光の楽家」
あかり らくや